

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業名	産地整備支援事業			会計	款	項	目	大事	小事
				01	06	01	03	03	67
政策	05	5節	賑わいと活気に満ちた流山（産業の振興）	主管課	農業振興課				
施策	5-4	多様な方面からの農業の振興		主管課長	安蒜 康志				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	・農業協同組合、生産組織、認定農業者、認定就農者	意図	園芸産地の生産力を強化・拡大する。
事業内容	千葉県の新「輝け！ちばの園芸」産地整備支援事業実施要領に基づき、園芸品目の生産出荷等の能力向上、省力・低コスト化を目的に要件者に対して支援する。			
事業開始から現在までの状況変化	千葉県の新「輝け！ちばの園芸」産地整備支援事業には「生産力強化支援型」と「園芸施設リフォーム型」があり、農業協同組合と協議しながら活用するよう努めている。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成26年度	平成27年度	平成28年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	①	補助対象件数				1 件	→→	
②								
③								
④								
⑤								
⑥								
指標で表すことができない定性的な成果						目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） ◆補助率は次のとおり [生産力強化支援型] ・生産組織等：1/3以内 ・認定農業者等：1/4以内 [園芸施設リフォーム型] ・1/4以内		
事務事業のコスト		平成26年度	平成27年度	平成28年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)				798,000				
事業費(b)(円)				798,000				
うち一般財源								
職員給与費(c)(円)								
人役・職員(人)								
人役・再任用(人)								
人役・臨職(人)								
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H28)の改善計画	県の100%補助を受けるため、改善計画はなし。	③取組の課題	県の100%補助を受けるため、取組の課題はなし。
②今年度(H28)に実施した取組	農業協同組合と協力し、適正な申請等に努めた。	④今後の改善計画	特になし